

光触媒に目覚めて

産総研の奥中です。この度は、このような寄稿の機会を与えていただき、感謝申し上げます。ここでは、私の自己紹介と最近行っている研究について、簡単にご紹介させていただきたいと思います。

私は、修士課程までを同志社大学工業化学科の加納航治教授（2014年3月退官）が主宰する研究室で、ポルフィリンとシクロデキストリンからなる超分子を利用して、人工血液への応用に向けた研究を行っておりました。一見、人工光合成とは何の関係もないように思われるかもしれませんが、ポルフィリンは光合成中心であるクロロフィルの基本骨格であることや、電子移動を始めとした光化学の基礎となる概念では共通しており、学生時代に当該分野の論文を（少しは）読んでいたことが、今の自分の財産になっていると思っております。・・・